

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成21年12月4日

化学物質等のコード : 1210-5356

化学物質等の名称 : チオシアン酸鉛( )

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 急性毒性物質、その他の有害性物質  
危険性 : 不燃性であり、通常の取扱において危険性は低い。  
有害性 : 皮膚や眼を刺激し、炎症を起こすことがある、経口摂取すると嘔吐、下痢、腎臓障害等の鉛中毒を起こすことがある。  
IARCでは鉛化合物(無機)を第2群B(人間に対しておそろく発がん性があると考えられる物質で、その証拠が比較的充分でない物質)に分類している。  
環境影響 : 水生生物に有毒である。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品  
化学名 : チオシアン酸鉛( )  
別名: ロタン鉛  
成分及び含有量 : チオシアン酸鉛( ) 95.0%以上  
(Pbとして61%)  
化学式又は構造式:  $Pb(SCN)_2$   
官報公示整理番号 化審法 : 1-162  
安衛法 : 公表  
CAS No. : 592-87-0  
危険有害成分 : チオシアン酸鉛(II)

4.応急処置

眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。  
皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。  
直ちに付着部または接触部を多量の水で充分に洗い流す。  
吸入した場合 : 直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気の場所に移す。鼻をかませ、うがいをさせる。  
飲み込んだ場合 : 毛布等で保温して安静にさせる。多量の水または食塩水を飲ませて吐かせる。水でよく口の中を洗わせても良い。  
患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。直ちに医師の処置を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 :  
(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。  
(着火した場合) 多量の水を用いて消火する。  
消火作業の際には必ず保護具を着用する。  
消火剤 : 水

6.漏出時の措置

飛散した場所の周辺にはロープを張る等して人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しい。  
飛散したものは空容器にできるだけ回収し、その後を消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、多量の水を用いて洗い流す。  
この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないよう注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 皮膚等に付着したり、粉塵を吸い込まないよう適切な保護具

を着用する。取扱い後、手洗い、洗顔、うがいを行う。  
作業後は入浴し、鉛をよく洗い流す。

保管：容器は密栓し、乾燥した冷暗所に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：0.05 mg / m<sup>3</sup> (Pbとして)

許容濃度 日本産業衛生学会：0.1 mg / m<sup>3</sup> (Pbとして)  
(2007年度版)

ACGIH：0.15 mg / m<sup>3</sup> (Pbとして)

(2007年度版) (TLA-TWAとして)

設備対策：粉塵の発生する場所はできるだけ密閉化するか、又は局所排  
気装置を設置する。

又、取扱所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

保護具：保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等：白色粉末、無臭

沸点：分解

融点：190

揮発性：無

比重：3.8 (20 )

溶解度水：0.3% (20 )

その他：熱水に可溶

## 10. 安定性及び反応性

引火点：不燃性 爆発限界 不燃性

発火点：不燃性

可燃性：なし

安定性・反応性：通常の取扱条件において安定である。  
強酸化剤と混触すると反応することがある。

## 11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

刺激性(皮膚、眼)：眼、皮膚に刺激作用があり、粘膜、皮膚に炎症を起こす。

感作性：データなし

急性毒性(50%致死量等を含む)：

急性中毒の症状は、四肢の麻痺、痙攣が特徴で、顔面蒼白、  
嘔吐、下痢、血便、脈頻、腎臓障害を起こし、1~2日で死亡する。

亜急性毒性：データなし

慢性毒性：鉛の摂取量が増すと骨組織に沈着し、さらに血液中に遊離  
して毒性を現す。1日に0.5mg以上吸収すると蓄積して毒性  
を現す。0.5g吸収すると致命的である。

慢性症状としては、疲労、頭痛、四肢の感覚障害、けいれ  
ん、排尿障害等を起こす。

がん原性：IARCは第2群B((ヒトに対して発がん性がある可能性がある))  
に分類している。

変異原性：データなし

生殖毒性：データなし

催奇形性：データなし

## 12. 環境影響情報

分解性：データなし

蓄積性：データなし

魚毒性：水生生物に有毒、  
鉛の魚類に対する限界致死量は1.4 mg / l

## 13. 廃棄上の注意

廃棄は次のいずれかによる。

固化隔離法

セメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定  
基準以下であることを確認して埋立処分する。

焙焼法

多量の場合には還元焙焼法により金属鉛として回収する。

備考 ア. 廃棄物の溶出試験及び溶出基準は廃棄物の処理及び清掃  
に関する法律に基づく規定による。

イ. 焙焼法による場合には専門業者に処理を委託することが  
望ましい。

## 14. 輸送上の注意

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを  
確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの

防止を確実に行う。  
輸送に関する国際規制  
陸上輸送 : 規制なし  
海上輸送 : 規制なし  
航空輸送 : 規制なし  
国連分類 : 非該当  
国連番号 : 非該当

---

#### 15.適用法令

労働安全衛生法：法第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき有害物  
No.411  
化学物質管理促進法(PRTR法)：特定第一種指定化学物質No.305「鉛化合物」  
(改正前PRTR法:第一種指定化学物質 No.230「鉛及びその化合物」)  
毒物及び劇物取締法：劇物 包装等級  
消防法：非該当  
船舶安全法(危規則)：非該当  
航空法：非該当  
大気汚染防止法施行令第二条第一項第三号(有害物質)  
水質汚濁防止法第二条第二項(有害物質)  
土壌汚染対策法：特定有害物質

---

#### 16.その他の情報

##### 参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。